

宮前区内交差点の安全対策 新型コロナ支援について

川崎市議会議員 矢沢たかお

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市議会においては補正予算等の審議で4月に第2回、5月に第3回臨時会が行われました。今回は6月26日に閉会となった第4回市議会定例会の内、一般質問で取り上げた中から「区内交差点の安全対策」と「新型コロナ感染症に係る支援」について報告いたします。

に向けて本格的に検討していることを確認しました。今回は、本年に入り設けられた交通管理者（警察）との協議状況と、今後の取り組みについて質問しました。

「受診時に公共交通機関を使えなかった」「里帰り出産ができなかった」「産休を早期に取り止める収入が得られなかった」等、コロナ禍の妊婦の方々に対する支援について質問。福田市長は「妊婦を取り巻く状況や課題を十分に踏まえ、不安を緩和できるように寄り添った支援に努める」と答弁。精神的にも経済的にも影響を受けている妊婦への手厚い支援を求めました。

毎朝650人超の児童生徒が横断する犬蔵交差点。直近3年間で歩行者・自転車に関連する事故が3件発生しており、本格的な安全対策が必要

です。昨年12月に行われた第5回定例会の一般質問では犬蔵交差点の安全対策を取り上げ、市が歩行者と車両の通行を分離する方式の信号機の導入



矢沢たかお
●川崎市宮前区初山生まれ(34歳)
菅生小、菅生中卒 / 法政大学
第二高等学校卒 / 法政大学情
報科学部卒 / 商社系IT企業
2019年4月2期目当選
事務所
宮前区初山1-20-12
Tel.044-976-2727

性があることを確認したと答弁。続けて「最適と

また、コロナは一部の農業従事者にも影響を与えています。とりわけ、



持田県議とともに取り組む
区内交差点の安全対策